

自然観察サークル 9 月定例会ブログ



9月の定例会は檀原神宮境内と畝傍山・畝傍山口神社周辺へ出かけました。サークルの観察コースは、4～5km くらいのコースがほとんどなのですが今日は約8km のコースでいつもより少し長くなりました。

定例会は集合すると、その日の日程等話をして準備運動をして始まります。



集合



準備運動



出発



目的地檀原神宮着



境内で観察中



畝傍山登山



畝傍山頂上より展望



畝傍山口神社鳥居



檀原神宮 深田池休憩所

目的地に到着すると観察が始まります。観察しながらの歩みなので、のんびりゆっくり進みます。植物観察をしていると心が痛むようなこともあります、大好きな植物の話をしてのんびりと一日を過ごし、心と体を癒されて帰路につきます。

観察した植物など



ハクショウ(マツ科) 葉が3葉で樹皮はまだら模様で後にはがれる。中国原産の常緑高木



ヒメイワダレソウ(クマツヅラ科)

ウリクサ (アゼナ科)一年草

南米原産 繁殖力旺盛

生態系被害防止外来種(環境省)



コガネキヌカラカサタケ(ハラタケ科) 幸運のキノコと呼ばれ1~3日で枯れる儚さ(胞子が見える)



モチノキ(モチノキ科)



ヒガンバナ(ヒガンバナ科)



オガタマノキ(モクレン科)



クスノキ(クスノキ科)



ヌスビトハギ(マメ科)
在来種



アレチヌスビトハギ(マメ科)
花を指でちょっと触ると
おしべが飛び出した。北米原産



メリケンムグラ(アカネ科)
茎断面 四角形 北米原産
繁殖力が旺盛(要注意外来種)



ナツフジ(マメ科)



マルバツユクサ(ツユクサ科)



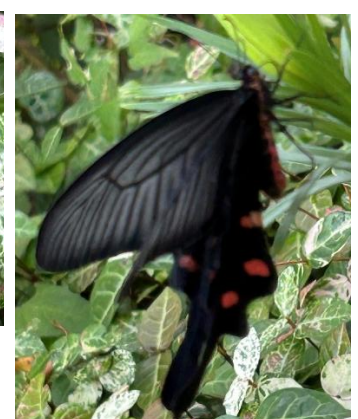
メリケンムグラ(アカネ科)



ウマノスズクサとジャコウアゲハの幼虫
(ウマノスズクサ科)多年草つる草 有毒



ジャコウアゲハ
(アゲハチョウ科)



今回は畝傍山周辺の観察でしたが、北西部の住宅街周辺にはヒメイワダレソウが大群落を作っていました。在来種の植物はどこかに追いやられてしまいそうな勢いでした。本当に繁殖力が旺盛だと思いました。他にメリケンムグラもあって繁殖力が旺盛な外来種が結構見られました。

このような植物は庭などに植栽するときは周りに与える影響も考慮して、決して捨てたりしてはいけないと思われました。